

みなさんの声が力に

都市空間向上計画(案)

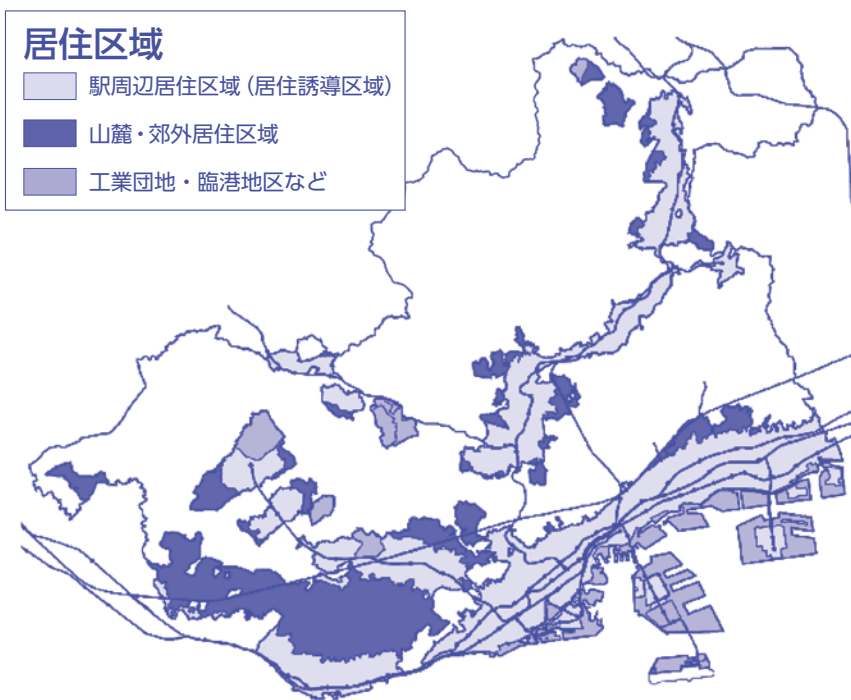
神戸市の計画が破たん!!

神戸市は、鉄道駅からの距離だけで地域を線引きし切り捨てる「都市空間向上計画(素案)」を6月末に発表し、413通1176件もの市民意見と議会からも線引きに反対意見があがったことを受けて、10月31日に見直し案として「都市空間向上計画(案)」を発表しました。計画(素案)時点では、鉄

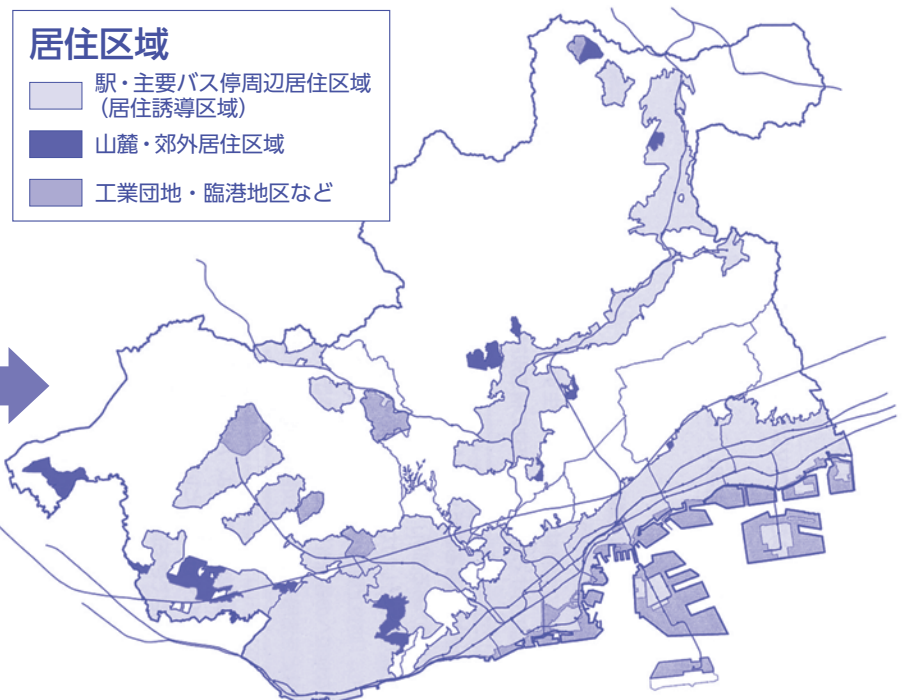
道駅から1600mの範囲を「駅周辺居住区域(居住誘導区域)」と「山麓・郊外居住区域(居住誘導区域外)」とに線引きされていましたが、計画(案)では、鉄道駅に加え、片方向運行が100本以上のバス停から500mの範囲を「駅・主要バス停周辺居住区域(居住誘導区域)」と発表。これまで「山麓・郊外居

住区域」(下図の濃い網かけ部分)と指定されていた区域のほとんどが、居住誘導区域となりました。みなさんの不安や怒りの声、大きな運動が事実上・計画破たんへ追い込みました。一方で、計画(案)では、「山麓・郊外居住誘導区域」が西区などに一部残されることと、駅前の過密の問題が残されています。

引きつづき、パブリックコメント(市民意見募集)にみなさんの声をおよせいただき、計画を撤回させましょう。日本共産党神戸市会議員団は、切り捨て地域をゼロにし、一方的に差別を受けるようなことなく、安心して暮らせるよう地域のみなさんと一緒に頑張ります。



6月発表 都市空間向上計画(素案)



10月発表 都市空間向上計画(案)

ぜひ声をおよせください 市民意見(パブリックコメント)提出先

受付期間 11月1日(金)~12月2日(月)

件名 神戸市都市空間向上計画(案)

提出方法 郵送・持参 (持参の場合 平日8時45分~12時、13時~17時30分の間)

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル6階
神戸市都市局計画部都市計画課宛

【FAX】078-595-6802

【E-mail】toshikukan@office.city.kobe.lg.jp

【意見送信フォーム】ホームページ上の意見送信フォームによる提出

12月2日(月)
消印有効

案に対するご意見に

件名・お名前・ご住所 を
そえて提出ください

私たち神戸の宝、敬老・福祉パス！

市民の声で、有識者会議の委員からも改悪に異論が！

敬老・福祉パス制度見直しの第4回有識者会議が11月1日（金）に傍聴者が約50名がつめかけるなか開かれました。

会議では、①敬老優待乗車証（敬老パス）無料乗車券、②敬老優待乗車証（敬老パス）近郊区上限110円、③福祉乗車証（福祉パス）母子世帯、の3つが、廃止を含め制度見直しをしていくべきものとして報告書（案）に挙げられました。しかし、「①について無料乗車券は非課税世帯に適用されてきた制度、それを廃止するのは、福祉の理念から逆転している」「③について以前の会議で買物などレジャー目的での使用は趣旨から離れるなどの話をしたが、反省している。母子世帯は半数以上が貧困世帯、その対策に直結して

いる制度であり、福祉乗車証を交付しないことは心苦しい」などとする委員の発言があり、座長も「（報告書の）文言をみなおす」と言わざるを得なくなりました。さらに、「他の自治体がやめるからやめるではなく、ここは、神戸は踏ん張

る、維持する、それが福祉だと示すことが前向きな姿勢ではないか」という意見もあがりました。

会議で、このような前向きな異論がだされたことは、あきらかに、2万4000筆をこえる署名の力、運動の成果です。

改悪ストップへ！

さらなる署名のつみあげを

2万4000筆の署名を提出した「敬老・福祉パス制度をよくする会」は、12月11日（水）14時より新長田勤労市民センター大会議室で集会も予定しています。

ひきつづき署名にご協力いただき、敬老・福祉パス制度改悪を中止させましょう！

市民意見を集中させ、

よりよい制度にさせましょう！

今後は、11月28日（木）or 29日（金）の福祉環境委員会で「神戸市の方向性」が発表されます。（※陳情提出は、11月21日（木）正午まで）

その後、市民意見募集（パブリックコメント）が実施され、来月3月（予算）議会で提案がされます。

市民が安心して暮らせるよう、さらに進んだ災害対策を

10月18日に神戸市議会本会議がひらかれ、神戸市東灘区の防災について、日本共産党の西ただ議員が議案質疑をおこないました。

質疑項目 1. 高潮浸水災害対策のあり方について

神戸市は、昨年の台風21号により被害を受けた六甲アイランド、住吉浜、深江浜地域へのかさ上げや排水対策をおこなう追加議案を提出しました。一方で市は9月4日に兵庫県が公表した高潮浸水想定に

ついては、避難行動を促すものでハード面での対策は考えていないとの見解を示しました。また、住吉浜のポンプ場設置の問題では、対岸の運河の海面が押しあがり、さらなる浸水被害が強まるのではな

いか、という不安に対し「引き続き関係機関と議論を深めていきたい」という答弁。西議員は「議論が残っているなら、やはり対策が必要だ。さらに神戸市として市民が安心してこのまちで暮らせるよう体系



西議員が議案質疑

的な高潮津波対策の計画を作り、対応すべきだ」と質しました。

答弁 ダイジ エスト

岡口副市長：大阪湾全体での検討委員会で検証を踏まえ取り組んでいる。

西議員：（県は）10カ年計画を発表した。神戸もさらに進んだ次元での対応を、考え始めるべきだ。

森本議員が議案質疑

10月28日に神戸市会本会議がひらかれ、東須磨小学校の教員いじめ問題を受けて神戸市が追加提案した条例改正案に対し、条例の妥当性と分限処分をする判断基準などについて、森本真議員が議案質疑をおこないました。

ムダな大型開発やめて

市民に寄りそった施策を最優先に

9月25日にひらかれた本会議で日本共産党議員団の山本じゅんじ議員が2019年度神戸市補正予算関連議案に対し反対討論をおこないました。

また、10月28日にひらかれた神戸市議会本会議で朝倉えつ子議員が2018年度神戸市会計決算に対し反対討論をおこないました。

質疑・討論の内容は「神戸市会ホームページ」本会議の「インターネット録画中継」または「日本共産党神戸市議会議員団のホームページ」でご覧いただけます。

「教員同士のいじめ・暴行」「児童へのいじめ・体罰」
なぜ神戸で、人権や憲法を無視したことがおきるのか？

教育シンポジウム

主催 日本共産党神戸市議団

11月16日（土）午後2時開会
須磨パティオホール（地下鉄名谷駅前）

基調講演 藤森 毅（日本共産党中央委員会文教委員会責任者）
パネリスト 保護者やいじめ・教育問題に取り組んでいる方を要請中
学校での不祥事を生みださないとりくみとともに、真に子どもたちの成長を支える学校づくりをごいっしょに考えましょう